

# MXIOプログラミングライブラリ

## I/Oデバイス管理の利便性を向上



### 機能とメリット

- ・ リモートI/Oデータを取得する直感的な方法
- ・ 大規模なコードリポジトリにより開発時間を短縮化
- ・ アクティブな通信をフル活用
- ・ ネットワーク障害後の、SDカードからの自動データ更新

### 製品紹介

MXIOプログラミングライブラリは、WinCEとLinuxのオペレーティングシステム、ならびにC++、VB/VC、.NETの開発プラットフォームをサポートしています。このライブラリは、高水準のコンピュータ言語を簡単に利用できるようにして、これによりI/OデバイスならびにイーサネットやRS-485のネットワークを介してのデータ転送操作を管理できるようにしています。C#とVisual Basicコードサンプルの膨大なリポジトリがあるため、これは実現されています。Moxaの無料MXIOライブラリにより、Linuxプログラマーは簡単に、カスタムアプリケーションを開発し、ホストと透明性の高い通信を確立し、ioLogik製品ファミリー全体でLinuxを利用するメリットを享受できます。

#### リモートI/Oデータを取得する直感的な方法

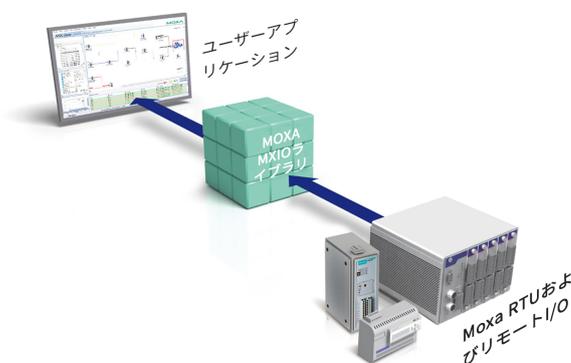
MXIOプログラミングライブラリは、イーサネットやRS-485のネットワークで使用するためのデータ管理アプリケーションを開発するプログラミングツールのセットです。MoxaのコントローラやリモートI/Oデバイスをリンクします。これには、I/Oデータを取得するためのより直感的な方法を提供する直接I/Oコマンドセットが含まれています。ソフトウェア開発者は、I/O監視や制御機能を管理するために、複雑なModbusプロトコルを学習する必要がなくなりました。そして、エンジニアは、MXIOの直接I/Oコマンドを使用し、任意のI/Oポイントやチャンネルに簡単にアクセスすることにより、I/Oデータを取得できます。

#### 大規模なコードリポジトリにより開発時間を短縮化

MXIOライブラリには、多数のサンプルコードの例があり、これによりプログラマーがソフトウェア開発時間を短縮化し、APIを短時間で把握できるようにしています。開発者は、MXIOの機能とデモプログラムを、ライブラリをインストールするとすぐに利用できます。

#### アクティブな通信をフル活用

MXIOライブラリは、I/O設定とステータスの更新をMoxaのコントローラやリモートI/O製品から受信するために、アクティブな機能を提供します。画期的なPush技術により、ユーザーは従来のポーリングサーバーより高速で正確にデータを収集するメリットを得ることができます。



## 仕様

### Hardware Requirements

CPU	Intel Pentium 4 or above
RAM	512 MB (1024 MB recommended)

### Software Requirements

Operating System	Linux Debian 7.8 Microsoft Windows 7/8/10 Microsoft Windows Server 2003/2008/2012
------------------	---

© Moxa Inc. All rights reserved. 2020年3月12日更新。

Moxa Inc.の明白な許可を written で取得しない限り、本書およびその一部の複製や使用はいかなる方法やいかなる場合でも許可されません。製品の仕様は予告なく変更されることがあります。最新の製品情報については当社のWebサイトをご覧ください。